

エリート男子は田山寛豪が20位

2007ITU世界選手権ハンブルク大会速報3

地元ドイツのダニエル・ウンガーが初優勝

9月2(日)、2007ITU世界選手権ハンブルク大会の最終日、エリート男子のレースが行われた。

前日と同じような曇天で、スタート近くになって晴れ間も現れるようになったが、いぜんとして気温は20度を下回った。水温も17度と変わらず、ウエットスーツは着用許可となった。

午後3時5分にレースはスタート。スイムトップはアンディ・ポッツ(アメリカ)、ステファン・ポーレ(フランス)とチャベ・ゴメス(スペイン)がすぐ後を追う展開。

日本選手は、山本良介(トヨタ車体)が20位、田山寛豪(チームテイケイ)が25位でトランジションへと入った。

バイクではすぐに、ゴメス、ポッツ、フレデリック・ブローブルとポーレのフランス勢4名がリードしたが、2周目に第2集団に追いつかれ、吸収された。そしてすぐ後に、50名近くにふくれあがった大きな第1集団ができあがった。そのなかには、田山寛豪(チームテイケイ)と山本良介(トヨタ車体)、細田雄一(ウイダー)も入っていた。

バイク終盤で、オリビエ・マルソー(スイス)とティモシー・オドネル(アメリカ)が逃げたが、すぐに吸収されてランへと移った。

ランに入ると、1周目の終わりから、ゴメス、ヤン・フロデノ(ドイツ)、ダニエル・ウンガー(ドイツ)、ブラッド・カーフェルト(オーストラリア)、ブローブル、クリス・ゲメル(ニュージーランド)の6名のデッドヒートとなった。日本選手は、ランへの出だしが悪く、苦戦を強いられた。

互いに譲らぬ駆け引きが続いたが、最終周に入って激戦を制したのは、ウ



総勢82名のスイムスタート



大集団のなか健闘する田山(中央)

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



エリート男子は田山寛豪が20位

2007ITU世界選手権ハンブルク大会速報3

ンガーで、1時間43分18秒のタイム。
ウンガーは、「地元であることと、夢が叶ったことと、二つの喜びを得た。完璧な勝利が得られて、2週間後のITUワールドカップ北京大会へ弾みがついた」と語った。

日本選手は、田山の20位が最高位。以下、山本37位、細田雄一(ウイダー)46位、西内洋行(西京味噌)66位だった。

同日開催のエイジグループ世界選手権に出場した日本選手の結果は以下のとおり。佐藤千佳(神奈川県連合)17位、森本奈々(兵庫県協会)72位、矢島ルリ子(熊本県連合)10位、北里初美(福岡県連合)73位、瀬々井ハル子(熊本県連合)78位、福元哲郎(広島県協会)5位、一木悟美(福岡県連合)115位、谷山史仁(神奈川県連合)125位。

なお、この模様はフォトギャラリーでご覧になれます。



ゴメス、フロデノ、ウンガー、カーフェルト、ブローブル、ゲメルのデッドヒート

田山 寛豪
(チームテイケイ)



スイムでは悪くない位置であがれたが、バイクで十分に戦えなかった。特に、最終周はランにつなげる位置取りができなかったのが悔しい。ランでも思ったように走れなかったし、「出直し」を感じた一戦だった。ITUワールドカップ北京大会で雪辱した。



ウンガーは初優勝



ランで前を追う田山

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

